

# 東北支援チームの活動内容 2011年7月～2015年7月

グループ〈わ〉は2011年3月から東日本大震災の募金を開始。7月からは6次にわたって現地に支援チームを派遣。田んぼのガレキ運びや公演活動、料理作りを通して被災者や子供たちと“心の交流”を楽しんできました。（南形徹）

## ●第1次隊 2011年夏に南三陸・大崎へ

第1次隊（17人）は7月18～22日に宮城県南三陸町・大崎市・登米市へ。大型ライトバン4台に農機具と段ボール65箱分の衣類・雑貨・日用品など支援物資を満載。登米の避難所に届けてきました。

南三陸町では9人が田んぼのガレキ運びを手伝いました。海岸から5キロ、山間の棚田ですが多くの住宅が全壊し、田んぼはヘドロとガレキの山。家の柱、家具、丸太、布団、台所用品、学用品、ボートまであり、3日間で3反ほどを片付けました。

あとの8人は、大崎市などの幼稚園・小学校・児童館を回り、子供たちと昔遊び・紙芝居・マジック・歌を楽しみました。どこでも歓迎され「こんな笑顔を初めてみました」と保母さんたちにも感謝されました。

最終日には地元の大学の先生の案内で、南三陸と石巻の被災地を見学しました。見渡す限りガレキの山。鉄骨だけになったビルや庁舎が無残な姿を晒しています。

子供たち70数人が大津波にのまれた石巻の大川小学校。校舎に入ると泥まみれの机が少しだけ残っています。道路わきの祭壇には、花やおもちゃ・漫画、学用品・飲み物が供えられ、多くの人が涙ながらに手を合わせています。私たちも涙がとまりませんでした。

【訪問先】 大崎市のNPO田んぼ。南三陸町入谷地区の棚田。登米市米山児童館、登米児童館、中田児童館。大崎市大貫小学校、登米市迫児童館。壊滅的な被害を受けた南三陸・石巻・気仙沼地区と大川小学校を見学。

## ●第2次隊 2011年秋に女川・石巻・名取へ

第2次隊（15人）は2011年10月15日～19日に女川町・石巻市・東松島市・名取市を訪れ、仮設住宅・小学校・幼稚園・児童館で計11回の交流活動をしました。現地から「心のケアをしてほしい」との要望があり、昔遊び・紙芝居・マジック・民謡・童謡を中心としたプログラムを組みました。

仮設住宅での公演は初めてで、4か所を回ったが戸惑うことばかりでした。事前にポスターやチラシを配布していたのに集まりが悪く、三味線・ハーモニカで各戸を回り、大声で呼び込みもしました。でも、始まってみると皆さんノリノリ、「初めて近所の人と話をした。半年ぶりで民謡を歌った」というお年寄りも多く、メンバーも感激しました。小学校・児童館などの公演は、日ごろ慣れているのでリラックスしてできました。ある幼稚園では150人も集まってくれ、てんてこ舞いの大忙しでした。

た。牡鹿半島にある女川町は、道路事情が悪く陸の孤島状態。まだ炊き出しが行われていました。満潮になると道路が冠水するため、宿舎との往復は潮時表を見ながら、といった有様でした。名取市閑上地区は平地のため、家も学校もすべてが津波にさらわれて見渡す限り何も無い荒地。見学した私たちは暫し言葉もありませんでした。

●訪問先 女川町復興センター。石巻バイパス東と西の仮設住宅。女川町清水・新田仮設住宅。東松島市花房幼稚園。石巻市東浜小学校、萩の浜保育所。名取市増田保育所。名取が丘児童センター。名取が丘保育所。ゆりが丘児童センター。

## ●第3次隊 2012年夏に女川・名取・仙台へ

第3次隊（17人）は、2012年7月7日から13日まで、女川町・石巻市・名取市・仙台市若林区を訪問。仮設住宅4か所、小学校5校、保育所3か所、児童館3か所（計15か所）で、昔遊び・紙芝居・マジック・大道芸・銭太鼓・民謡などを中心としたプログラムを組み、一緒に遊んだり体験してもらったりして交流してきました。メンバーのうち4人は現役。西区竹の台小の女性教諭1人が同行しました。福祉振興協会（しあわせの村）もプロの歌手・花城アリアや女性パフォーマー・ドレミちゃん、体操のインストラクター、職員ら6人のチームを派遣。3か所で共演しました。共演は昨年7月に次いで2回目。最終日には、石巻市長と仙台市にある生涯学習施設「豊齢学園」を表彰訪問しました。

【訪問先】 女川町復興センター。女川町清水・新田両仮設住宅集会所。石巻バイパス東・西仮設住宅。女川第二小。石巻東浜小学校・萩の浜保育所。名取が丘保育所。名取が丘児童センター。名取市増田保育所。名取市ゆりが丘児童センター（振興協会チームと共演）。仙台市若林区東六郷小（共演）。六郷児童館（共演）。石巻市の亀山市長と面談。仙台の豊齢学園。

## グループ〈わ〉に厚労大臣感謝状

グループ〈わ〉とこうべ市民福祉振興協会の東北支援活動に対し、2013年3月11日付けで田村憲久・厚生労働大臣から感謝状が授与されました。3年間に及ぶ活動が高く評価されたもので、4月8日に神戸市役所で伝達式がありました。兵庫県で23団体、全国では1458団体が受賞しています。

また、2015年3月には兵庫県知事から〈わ〉の東北支援活動に対し感謝状が授与されました。

## ●第4次隊 2013年夏に女川・名取・仙台へ

第4次隊（8人）は、7月2日から6日まで宮城県石巻市・女川町・名取市・仙台市若林区を訪問。体育館や仮設住宅・小学校・児童館・保育所で、スポーツ大会・料理交歓会・七夕飾り制作・昔遊びを楽しんできました。今回は仙台豊齢学園と初めての連携プレーが実現。さらに一部日程で福祉振興協会・18期G学習チームも加わり4者協働の賑やかな活動となりました。

3日は総合体育館でディスコン大会（ディスクを転がす軽スポーツ）。町民の皆さん50人が参加、親善試合を楽しみました。4日は清水仮設と野球場仮設の2か所で、仙台の伝承七夕飾り制作。豊齢スタッフの指導で、2時間ほどかけて高さ70センチの豪華なミニ飾りが次々に完成。午後は女川小で1・2年生と七夕飾りを作りました。

5日は2班に分かれ、A班は女川町浦宿の仮設で仙台男の台所チームや仮設の皆さんと手料理交歓会。神戸は水餃子とおにぎり。仙台は手打ちそばと卵焼きのメニューです。60人ほどがワイワイがやがやと奮闘2時間。できあがった手料理の数々を「うまいうまい」と自賛しながら楽しみました。B班は名取市閑上小学校へ。豊齢のお手玉チーム、18期チームも加わり、昔遊びやアンパンマン踊りに子供たちは大喜び。午後は仙台の六郷児童館へ。子供たち30人と1時間余り遊んで騒いでお別れです。

6日は名取市の増田保育所へ。ここへは3回目。アンパンマン姿の増金さん（福11）が登場すると、子供たちはワアワア大はしゃぎ。一緒に歌ったり踊ったりしました。

【訪問先】仙台豊齢学園、女川町体育館、女川町清水仮設住宅、体育館仮設、女川小学校、浦宿仮設、名取市閑上小学校、名取市社協、増田保育所、仙台市六郷児童館

## ●第5次隊 2014年夏に女川・名取・仙台へ

第5次隊（10人）は、2014年7月2日～6日の日程（4泊5日）で女川町と名取市の小学校・保育所・児童館・復興住宅を訪問。昔遊びや七夕飾り制作、手料理の交歓会、ディスコン遊びで交流を深めてきました。3日は協会チーム（5人）と合流。2班に分かれ女川第一保育所と第四保育所へ。第一は90人もの子どもたちが迎えてくれ、紙トンボやマジック、ペーパーハット作りに大はしゃぎ。第四では保育所の歌で歓迎してくれました。午後は女川小へ。1・2年生と一緒に大きな七夕飾り2本を作りました。4日午前中は協会チーム（5人）、仙台豊齢のお手玉チーム（8人）と合流して閑上小へ。1・2年生合わせて児童わずか12人。スタッフの数の方が多いという公演になりましたが、アンパンマン体操やお手玉、昔遊びを全員で楽しみました。午後は名取が丘児童センターを訪問。子供たちと昔遊びやマジックで交流しました。

5日は女川町に戻り、完成したばかりの復興住宅集会所で料理の交歓会です。神戸から餃子やたこ焼き・おにぎりの食材60人分を用意。60人を超す参加者があって一緒にわいわいと料理を作りました。食後は大道芸、民謡、

マジックを楽しみました。午後は町内を見学、新しく設置された献花台で犠牲者の冥福を祈りました。6日はディスコン大会。男性や子供たち20人が参加。親子の試合も生まれ、最後は〈わ〉チームと女川チームが対決。女川が逆転勝ちで「やった。やった!」と嬉しそうでした。

【訪問先】仙台・豊齢学園、女川町役場、女川・第一、第四保育所、女川小、名取・閑上小、名取が丘児童センター、女川・運動公園住宅、献花台

## ●第6次隊 2015年夏に仙台・名取・女川へ

第6次隊（9人）は、2015年7月2日～6日の日程で仙台市・名取市・女川町の小学校・保育所・復興住宅を訪問。昔遊びや大道芸、民謡、カレー料理、ディスコン遊び、自治会との懇親会などで交流を深めてきました。2日～4日は振興協会チームと合同公演でした。

2日午後は振興協会チームと合流、仙台の荒井仮設住宅で大道芸やマジック、楽器演奏、工作などで交流。3日午前中は仙台・東六郷小へ。全校わずか17人の児童と昔遊びや楽器演奏。紙飛行機の飛ばしっこが人気でした。午後は全滅した閑上地区の復興工事を見学して女川へ。4日は朝から女川の復興住宅へ。70人ほどの皆さんと民謡・マジック・大道芸を楽しみ、一緒に作ったカレーで昼食会です。午後はディスコン大会。子供たちも交じってワイワイと半日楽しみました。

5日は自治会役員20人と双方の震災体験や復興、地域ボランティアについて語り合いました。こういう会合はこれまでやったことがなく、お互いに「有意義だったね」と握手して別れました。

6日は最終日。午前中、大急ぎで2つの保育園（第一・第四）を回って子供たちと遊びました。どちらも人数が多く、私たちスタッフも大忙し。マジックや紙トンボ、動物風船が人気でした。お礼に園歌を歌ってくれ、「バイバイ、また来てね」と手を振って見送ってくれました。午後は名取の閑上小まで一気に走り、神戸の甲緑小学校から託されたメッセージを届けてきました。

【訪問先】仙台・荒井仮設住宅、東六郷小、名取・日和山慰霊碑、閑上小、女川・運動公園住宅、第一・第四保育所、女川町役場、女川中学校・小学校

●メッセージ交流 支援チームが訪問する小学校や児童館・保育所・仮設住宅には神戸の子供たちが書いたメッセージを届けています。1次～6次を通じて約50校園から寄せられた約250枚のメッセージを女川・石巻・名取などの30校園へ。現地の子供たちからは嬉しい礼状が届き、今では神戸と被災地の小学校や児童館同士の交流も続いています。

